

2016 年度学校関係者評価中間報告

2016 年度の学校自己評価中間評価に基づき、学校関係者評価を行いましたので、ご報告いたします。

1. 委員会構成

後援会代表	2 名
愛友会代表	2 名
教育会代表	2 名
本校関係者	3 名

2. 委員会開催日時

平成 28 年 10 月 29 日（土） 午前 10 時 30 分～12 時 15 分

【評価項目】に関して

<4>に対し

中学生でもなかなかプリント類を親に見せない。保護者も、メール配信などを受けても、重要性や内容がわかりにくいこともある。学校にお任せの方もいるが、もっと保護者が学校に行く機会を作ることで、様々な行事への参加状況がよくなるのではないかとアンケートの回答率も上がると思う。他の学校では、毎月何らかの形で学校に行っていた。

<14>に対し

大学などはとても積極的な地域参加がみられる。大学は地域参加を強く求められていることもあるが、学校としてもっと出ていくことは必要である。近隣の公立中学校の体育大会にテントをお貸ししたのも地域交流の一つ。夏休みに“寺子屋”と称して、地域の小学生の夏休みの宿題のお手伝いも試みたが、広報が遅かったせいか一人しか参加者がなかった。学院に「地域連携室」といった窓口を設けてはどうか。

<17>に対して

確かに塾から信愛の名前が挙がって来ない。知り合いの方で信愛を考えていた方がいたので進めたが、結局、塾の指導で他の私立高校へ行ってしまいとても残念であった。女子高に入れている保護者の願いは、学力だけでないものがある。しつけや心の教育などいいものがあるのだが、塾に対してのセールスポイントがわからない。

<22>に対して

スマホは野放しではいけない。許可制で、学校が預かるのが良い。
ただ、高校生にはもう少し自由度があってもよいのではという意見もある。

<50>に対して

体育大会の受付で、来賓に対する対応が悪く、気分を害された方がいる。
新任の先生に限らず、そういったケースではどう対応するのか、ベテラン教員が次の人にしっかり引き継ぎをする必要がある。

【重点目標】他

・「学力の向上」が実感できていないに対して

○中学の間にしっかり勉強習慣をつけておくことが大切。

○中学の7限授業を6限にして、部活や習い事などものびのびできるほうがいいのではないかという考えもあるが、保護者としてはあまり感じていない。学校にお任せする。信愛は暖かい雰囲気、そのところは良いが、学力は必要で、いい進学もさせてもらいたい。

○自宅近くのある私立高校は、授業か補習かが行われていたのか、夜遅くまで校舎の窓の明かりが見えた。今や、たくさんの生徒が集まる人気校でレベルも高いと聞く。レベルが上がると、生徒も変わり、あいさつなどもとてもよくなっている。

○姉が「文理コース」で卒業し、妹は「看護医療コース」に在籍しているが、同じ学校なのに別の学校にいるような気がするほど違う。それぞれコースの特性によって、その生徒にあった教育をしてもらえるのはいいと思う。

○大学を出た娘の就職活動における企業の面接で、「信愛」出身であることが話題にされ、とても高い評価で、内定ももらった。まだ、年配の方々には、いいイメージがある。

○大学生の娘だが、ゴミ出しをしているときに、ゴミの収集に来ていた方に「ありがとうございます。」とってゴミを渡している娘に驚いた。そんなことを言える子ではなかったに、感謝の心を育ててもらった。